恵那農林事務所農業普及課の普及活動報告　令和８年 10 月

恵那の農業・農村を支える人材育成

■夏秋トマト・農福連携　農福連携に向けた現地研修会を開催



【農福連携に向けた意見交換】

農業分野における労働力確保と、福祉分野における障がい者の就労機会や社会参加の拡大を目的に、恵那農林事務所農業普及課は 10 月 16 日、「農福連携に向けた現地研修会」を開催した。研修会には、福祉事業所職員 4 名、トマト生産者 2 名、行政関係者を含む計 17 名が参加し、農福連携のさらなる推進に向けて理解を深めた。

施設外就労では、作業内容の理解に加え、障がい者等を支援する職員の指導力向上が重要である。このため、本研修会では福祉事業所職員を対象に、トマト生産者ほ場で栽培管理技術の実習を行うとともに、農福連携の推進に向けた意見交換を実施した。

参加者は、生産者や農林事務所職員から指導を受けながら、葉かき作業のポイントや注意事項を学んだ。また、意見交換では、連携時の契約方法や活用できる支援制度について活発な質疑が行われた。

農福連携の実践には、農業者と福祉事業所双方の条件が合致することが必要であり、その調整は容易ではない。一方で、双方に大きなニーズがあることも確認された。農業普及課では、今後もコーディネート機能を発揮しながらマッチングを進め、農福連携の新規導入と取組拡大を支援していく。

（園芸産地支援第一係）